

半端ないコウヨウザンの萌芽まうが

萌芽力に大いなる期待

四万十森林管理署管内の「コウヨウザン試験地」(辛川山国有林一二七二林班)の続報です。

初代は、昭和七年度に植栽。和六三年度(五七年生)に伐採、搬出、販売しました。

第二世代は、平成二九年度間伐等を実施(三十年生)。萌芽更新で成林している国内でも歴史のある試験地です。

第三世代は、平成二九年度に間伐。(写真右上 白色の筒状はシカ対策用)、七月下旬に萌芽状況等を調査し、その成長の旺盛ぶりを写真撮影してきました。

(写真左上 間伐後の伐根 写真左下 同の伐根からの萌芽状況)。

今後、芽かき作業や種子採取等による苗の育成などについて検討を進めていきます。



誌上 森林環境教育

木材の旅～運んで加工されるまで 木材の観察

概要

木の幹の年輪の様子を見てみよう。

目標

木の年輪は、木の切り口によって模様が変わる(木口面、板目面)ことを知り、木の成長を実感する。

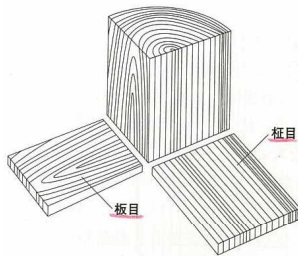
準備

年輪の見える切り株や木の写真、木材。

手順

- 年輪を数えてみよう。
- 木の断面を観察して、スケッチしてみよう。
- 木の断面の模様から、どの面か考えてみよう。

(日本の森林と林業 大日本山林協会より)



「二ホンジカが嫌う植物が残る」って

近年、二ホンジカ(以後、シカ)によるスギ・ヒノキの苗木や樹木、樹皮の食害などの被害が深刻化。

このような中、林道沿い等の周辺の植物によりシカの生息数や被害が推測できる。シカが嫌いな植物が優占している場所は、シカの密度が高い。逆に、好きな植物が多く見られる場合は、シカの密度が低いと推測。

平成27年四万十署管内(上源見山国有林)「困いわた設置周辺状況調査検討会」から。

シカが嫌う植物

—マツカゼソウ(写真上)、ウリハダカエデ、アセビ、コシダ、ヤブムラサキなど。

シカが好む植物

—ナガバモミジイチゴ(写真下)、スギ、ヒノキ、ワラビ、ゼンマイ、エゴノキなど。

(植物名は平成27年度 技術開発実施報告書より)



編集後記

自然の猛威に 更なる備えを。
引き続き 暑さに対応した 体調管理で、
今年の夏を。